

経皮的僧帽弁接合不全修復術を施行した症例における 腸腰筋面積と臨床的予後の検討

1. 研究の対象

対象：心臓病センター榊原病院で2019年1月17日から2023年7月27日まで経皮的僧帽弁接合不全修復術（M-TEER）を施行し、術前CTで腸腰筋面積を計測可能であった症例。

2. 研究目的・方法

開心術、TAVR対象患者における腸腰筋面積と臨床的予後の関係は過去に検討されており、腸腰筋面積が小さい症例と死亡率との関連が報告されている。しかし、M-TEERを施行した患者群における、腸腰筋面積と予後の関連は不明である。

本研究の目的はM-TEERを施行した症例を後ろ向きに観察し、腸腰筋面積と臨床的予後（死亡率や心不全再入院率）の関係を把握し、予後予測因子としての腸腰筋面積の役割を検討することである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテから得られる情報、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報提供はありません。

5. 研究組織

心臓病センター榊原病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病者さまもしくは病者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで2025年3月31日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：循環器内科 滋野 稜

研究責任者：循環器内科 廣畑 敦